

家庭の省エネ・エコライフスタイル推進 強化事業について

一般財団法人大阪府みどり公社

家庭の省エネ・エコライフスタイル推進強化事業について

府民の省エネ意識の向上や省エネ家電等の普及促進、及び再生可能エネルギーによる二酸化炭素排出量の少ない電気の選択を促進していくために、省エネ・省CO₂のアドバイスを行える「省エネアドバイザー」を養成し、市町村の協力を得て省エネ相談会等による普及啓発活動の展開を図ります。

省エネ相談会とは、「省エネアドバイザー」が簡易的な省エネ診断ソフトを活用して、対面式のアドバイスのほか、オンラインを活用したアドバイスを実施するものです。具体的には下記の3種類があります。

・ A.イベントでの省エネ相談会

「省エネアドバイザー」がイベント会場で来場者に声をかけ、アンケートに回答してもらいます。その内容をPCに入力し、結果シートをアンケートの裏面に印刷して回答者に返却し、受診者の家庭の状況に応じたアドバイスを行います。（所要時間10分程度）

・ B.出前講座での省エネ相談会

参加者にアンケートを書いていただいた後、省エネの講座を実施します。講座の間に、アンケートを回収してPCに入力、裏面に結果シートを印刷して、講座終了後に配布し、結果シートの説明をしながら省エネのアドバイスを行います。

・ c.オンライン省エネ相談会（試行的に実施予定）

Aの省エネ相談会をオンラインで実施します。ウェブブラウザ上で結果シートの画面と音声を共有して行います。（自己診断も可能。）

実施状況

- ・ R3年度は8月に省エネアドバイザー養成講座を開催。7名を新規登録した。（さらに10名程度登録予定。）
- ・ 今後、イベント会場や出前講座で省エネ相談会を実施する。

実施した省エネ相談会 ＜地域別・年度別＞		
地域	H30	R1
大阪市地域	6回	7回
北大阪地域	2回	7回
東部大阪地域	5回	4回
南河内地域	1回	1回
泉州地域	2回	4回
計	16回	23回

省エネアドバイザーの登録数 ＜地域別・年度別＞		
地域	H30	R1
大阪市地域	6名	+ 7名
北大阪地域	6名	+ 7名
東部大阪地域	11名	+ 2名
南河内地域	2名	+ 1名
泉州地域	7名	+ 1名
その他	--	+ 3名
計	32名	+ 21名

+ 7名
(+ 10名)

エコライフ記入シート
(アンケート)

おおさか省エネ相談会2021

エコライフ診断 記入シート

自分の家庭で、エコライフがどのくらいできているのか、診断書を作成することができます。

【1】次の取り組みができていますか？あてはまる番号に○をつけてください。

	1 できている	2 半分以上	3 できていない	4 持っていない・関係ない
(1)冷蔵庫のドアの開閉は回数を減らす	1	2	3	4
(2)食器洗いで節水を心がける	1	2	3	4
(3)生ゴミは水分を十分切って出すか、コンポストしている	1	2	3	4
(4)電子レンジや冷蔵庫保存はラップを使わず、ふた付き容器を使用する	1	2	3	4
(5)使い切る分だけお湯を沸かす	1	2	3	4
(6)使っていない部屋の照明はこまめに消す	1	2	3	4
(7)テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける	1	2	3	4
(8)冷暖房の設定を控えめにする(冷房は28℃、暖房は20℃が目安)	1	2	3	4
(9)物は大切に、長く使うように心がける	1	2	3	4
(10)家族で「省エネ」「リサイクル」「環境問題」などの話をする	1	2	3	4
(11)シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける	1	2	3	4
(12)お風呂はさめないうちに、家族が続けて入る	1	2	3	4
(13)お風呂の残り湯を、洗濯や庭の水やりに利用する	1	2	3	4
(14)掃除機をかける前に、まず部屋を片づける	1	2	3	4
(15)洗濯は量をまとめて行い、洗濯回数を減らすようにする	1	2	3	4
(16)洗剤を適量確認して使用する	1	2	3	4
(17)買い物のときは買い物袋を持参する	1	2	3	4
(18)エコマーク商品など環境にいい商品を意識的に選んで購入する	1	2	3	4
(19)リサイクルや、各自自治体の分別収集のルールを守る	1	2	3	4
(20)近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる	1	2	3	4

【2】一ヶ月のおおよその光熱費を記入してください。

電気代	ガス代	灯油代	ガソリン代	オール電化
円	円	円	円	はい・いいえ

【3】あなたの家族人数と、お名前をご記入ください

人数	お名前
人	

【4】鉄道やバスを利用しやすい地域ですか

はい・いいえ

ご記入ありがとうございました。

(有)ひのでやエコライフ研究所(https://www.hinodeya-ecolife.com/) 2006-2021

おおさか省エネ相談会2021

エコライフ診断書

sample 様

2021年7月6日

【1】エコライフの取り組み度

取り組み項目を、「台所」「部屋・生活」「風呂・洗面」「掃除洗濯」「買い物・外出」の5種類に分類して、得点を左のグラフにしてみました。5角形が大きいほど、よく取組んでいることを示しています。

部屋・生活、掃除洗濯についてよく取り組んでいます。

「近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる」、「シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける」といった取り組みをすすめてみてください。

【2】光熱費・ガソリン代の標準との比較

項目	あなた	4人家族の標準
電気	10,000	13,055
LPガス	6,000	7,888
灯油	573	0
ガソリン	4,000	3,917

光熱費・ガソリン代を大阪市郊外の4人家族の標準と比較しました。

項目	標準の	評価
電気	0.8倍	やや少なめ
ガス	0.8倍	やや少なめ
灯油	0倍	少なめ
ガソリン	1倍	ふつう

【3】二酸化炭素排出量

あなたの家庭の1ヶ月の生活で出てくる二酸化炭素は

重さは **220.4 kg**
2Lペットボトル **53,600 本分**
4人家族標準の **0.8 倍**

あなたの家庭では、4人家族標準と比べて、0.8倍の二酸化炭素が出ています。この中でいちばん割合が多いのは、電気です。家庭全体の51.5%を占めています。

二酸化炭素は、地球温暖化の大きな原因です。現在もすでに、世界中で氷河が溶けたり、海面が上昇する現象が起っています。将来の子どもたちのために、少しでも排出量を減らしましょう。

(有)ひのでやエコライフ研究所(https://www.hinodeya-ecolife.com/) 2006-2021

記入シート1：チェック項目

- 省エネについて分野ごとの取り組み度合いを確認するため、5分野20項目について「できている」「半分くらい」「できていない」「持っていない・関係ない」チェックする。
- チェック項目ははソフト（Excel）上で入れ替え可能。※例えば、18～20は“再エネ”の啓発のために変更した部分。

チェック項目	分野
1 冷蔵庫のドアの開閉は回数を減らす	台所
2 食器洗いで節水を心がける	台所
3 炎が鍋底からはみ出さないようにする	台所
4 使い切る分だけお湯を沸かす	台所
5 使っていない部屋の照明はこまめに消す	部屋・生活
6 テレビは点けっぱなしにせず、見たい番組のときだけ点ける	部屋・生活
7 冷暖房の設定を控えめにする（冷房は28℃、暖房は20℃が目安）	部屋・生活
8 物は大切に、長く使うように心がける	部屋・生活
9 掃除機をかける前に、まず部屋を片づける	部屋・生活
10 洗濯は量をまとめて行い、洗濯回数を減らすようにする	風呂・洗面

チェック項目	分野
11 乾燥機を使わずに、なるべく天日干しをする	風呂・洗面
12 シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける	風呂・洗面
13 お風呂はさめないうちに、家族が続けて入る	風呂・洗面
14 買い物ときは買い物袋を持参する	買い物・外出
15 省エネ製品や包装が少ないなど環境にいい商品を選ぶ	買い物・外出
16 車を運転するときは、エコ・ドライブに心がける	買い物・外出
17 近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる	買い物・外出
18 どの家庭でも再エネ電力が買えることを知っている	再エネ
19 電力会社や電気料金のプランを「再エネ」に着目して選んでいる	再エネ
20 太陽光発電を利用している	再エネ

記入シート2・3：光熱費、世帯情報等

- 同じ世帯人数の年平均の金額との比較を行う。
- 年平均が分からない場合は直近の値でよい。その場で光熱費が分からない場合は空白でもよい。

【2】一ヶ月のおおよその光熱費を記入してください。

電気代	ガス代		灯油代	ガソリン代	オール電化
	都市ガス	LPガス			はい・いいえ
円	円	円	円	円	

【3】あなたの家族人数と、お名前をご記入ください

人数	お名前
人	

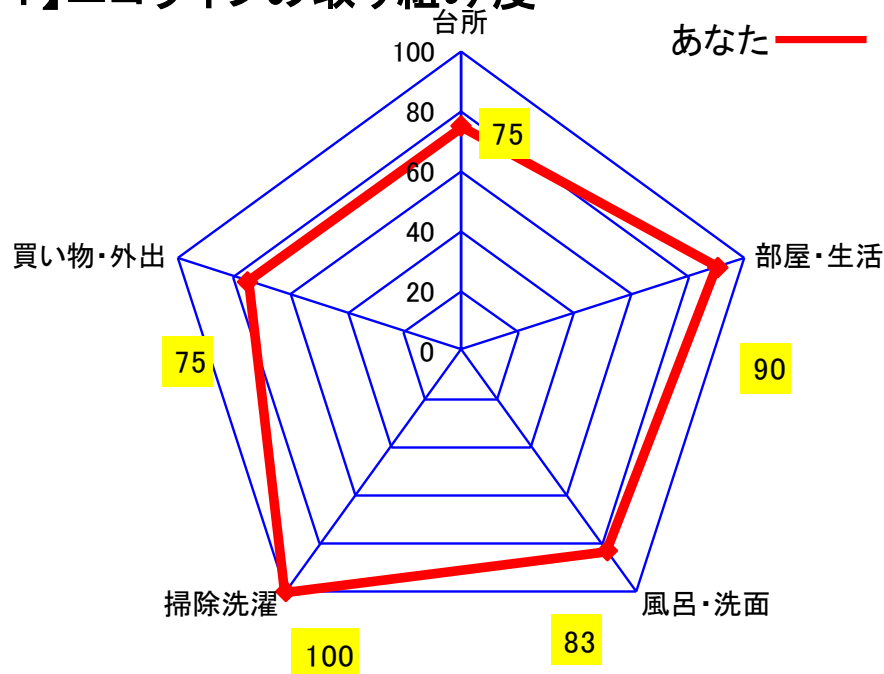
【4】鉄道やバスを利用しやすい地域ですか

はい ・ いいえ

診断書 1 エコライフの取り組み度

- 20項目のチェックを5分野に分けて、それぞれ100点満点で評価します。
- 受診者へのアドバイスが示されます。

【1】エコライフの取り組み度



取り組み項目を、「台所」「部屋・生活」「風呂・洗面」「掃除洗濯」「買い物・外出」の5種類に分類して、得点を左のグラフにしてみました。5角形が大きいほど、よく取組めていることを示しています。

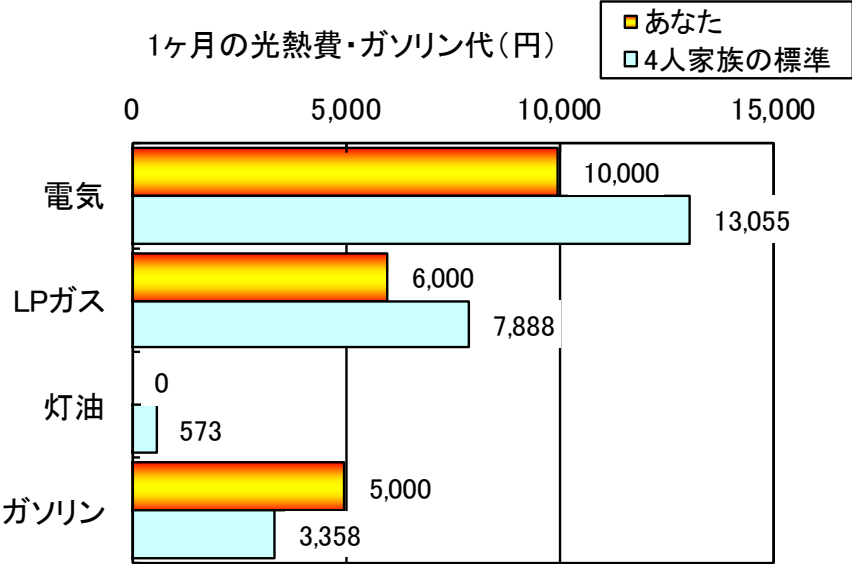
部屋・生活、掃除洗濯についてよく取り組んでいます。

「近い所へは徒歩や自転車を使い、自動車の使用はひかえる」、「シャワーで使用するお湯を少なくするよう気をつける」といった取り組みをすすめてみてください。

診断書 2 光熱費・ガソリン代の標準との比較

- 記入した光熱費等の値と比較されます。
- 無記入の場合も平均値（標準）の値は表示されるため、持ち帰って確認することができます。

【2】光熱費・ガソリン代の標準との比較



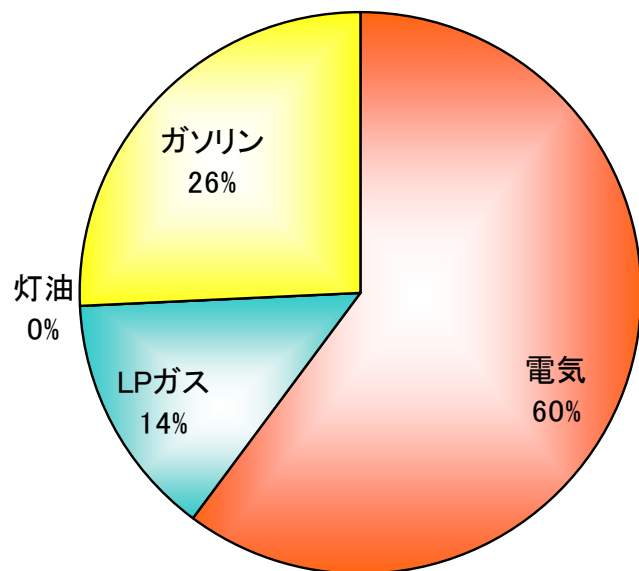
光熱費・ガソリン代を大阪市郊外の4人家族の標準と比較しました。

	標準の	評価
電気	0.8倍	やや少なめ
ガス	0.8倍	やや少なめ
灯油	0倍	少なめ
ガソリン	1.5倍	ふつう

診断書 3 二酸化炭素排出量

- 光熱費等を記入した場合、二酸化炭素排出量が試算され、受診者へのアドバイスが示されます。

【3】二酸化炭素排出量



あなたの家庭の1ヶ月の生活で出てくる二酸化炭素は

重さは **336.6 kg**

2Lペットボトル **81,800 本分**

4人家族標準の **0.7 倍**

あなたの家庭では、4人家族標準と比べて、0.7倍の二酸化炭素が出ています。この中でいちばん割合が多いのは、電気で、家庭全体の60.2%を占めています。

二酸化炭素は、地球温暖化の大きな原因です。現在もすでに、世界中で氷河が溶けたり、海面が上昇する現象が起こっています。将来の子どもたちのためにも、少しでも排出量を減らしましょう。

A.省エネ相談会の進め方（イベント）

参加者を呼びかける



受診者が20項目のアンケートを記入
するサポート

アンケートをソフトに入力している
間の情報提供

※ソフトへの入力、結果出力はス
タッフかPC操作のできるアドバイ
ザーが行う

出力した結果の説明



B.省エネ相談会の進め方（出前講座）

講師：参加者のアンケート記入を促す

※記入について質問を受け付ける

スタッフ：アンケートを回収する

講師：省エネに関する講演

スタッフ：アンケートのソフトへの入力、結果出力

スタッフ：出力結果を返却する

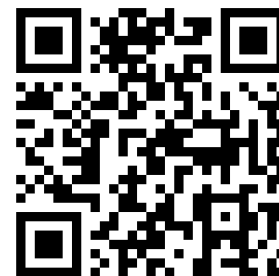
講師：結果の説明をする

c.省エネ相談会の進め方（オンライン）

1. スマホ／パソコンで診断サイトにアクセスする

<https://r.qrqrq.com/aCWWqWVM>

このQRコードおよびURLはアクセス解析のためにCookieを使用しています。
アクセス回数を確認するためのもので、個人を特定するものではありません。



2. 「リストを更新する」を選択し、相談員リスト（アドバイザーのこと）をチェックする

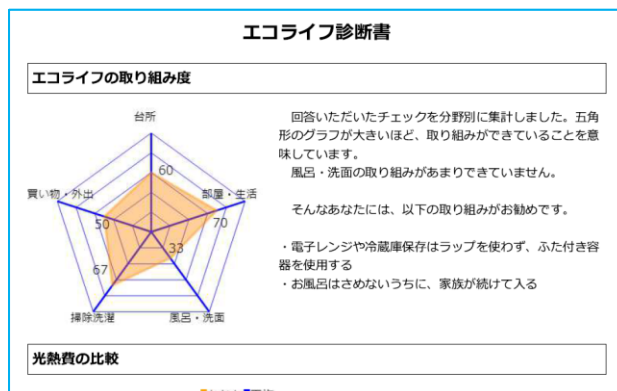
※「相談員と通信せず自分でチェックする」を選択すると自己診断も可能

リストを更新する

相談員と通信をせず自分でチェックする

3. アンケートに回答する

4. 診断書が表示される (印刷可能)



オンラインエコライフ診断

ようこそオンライン「エコライフ診断」へ

エコライフは、家計にとってやさしいだけでなく、地球環境への負荷をへらし、子どもたちの未来を守ることに繋がります。

家庭でできるエコライフを、生活を取り返ってチェックしてみましょう。点数をつけることが目的ではなく、取り組めていない項目から、どうしたら減らせるのか考えるポイントを探したことが、この診断の目的です。

エコライフに関するチェック項目が20問と、光熱費の質問があり、最後にあなたのエコライフ診断結果が表示されます。

チェック項目は「している」「半分以上している」「していない」のボタンから選んでください。

相談員リスト

待機している相談員を呼び出して、音声で話をしながら、診断を受けることができます。診断画面も共有されます。

リストを更新する

相談員と通信をせず自分でチェックする

※IE、Edge（2020年4月アップデート前）では動作しません。

エコライフ診断 Copyright(C) 2006-2021、有限会社ひのでやエコライフ研究所

CO₂削減効果、電気およびガスの使用量の変化（R1年度事後アンケートの結果）

• CO₂削減効果

省エネ相談で確認した20 項目の省エネ行動について、新たに実施したものを確認し、世帯当たりのCO₂ 削減量を次のとおり集計・試算した。（回答数：151 件）

- 「新たに実行した」行動の合計：10 t/年・・・①
- 平均の世帯当たりのCO₂削減量：① ÷ 151 世帯 = 0.68 t/年・世帯

（参考：H30年度の「新たに実行した（常に実行した）」ことによる削減量は0.69 t/年・世帯）

• 電気およびガスの使用量の変化

対象となる月の光熱費が前年同月と比べてどのように変化したかについても併せて調査した。結果は下記のとおり。

- 電気代：平均2.4 %削減(n=81)
- ガス使用量：平均3.2 %削減(n=74)

（光熱費の変動要因として、省エネ行動のほか、気候や光熱費料金の変動など様々な外部要因が考えられるが、回答数の多かった電気代及びガス代については約2～3%の節約効果が見られた。）